



あまの 四季彩

網野町の人口(人)			
	H31.3末	H31.4末	前月比
0～14歳	1,259	1,255	-4
15～64歳	6,730	6,711	-19
65歳～	4,838	4,835	-3
合計	12,827	12,801	-26

端午の節句 主役は「子どもたち」

5月5日(日)、朝日神社例祭が同神社境内で催され、網野神社の西川宮司による祝詞の奏上に続き、玉串奉奠が行われました。

浅茂川地区の「子ども神輿巡行」では、晴天のもと汗を光らせながら「ワッショイ、ワッショイ」と大きな声を上げ、区内を練り歩く子どもたちの姿を、地域のみなさんが沿道から見守りました。

午後には境内に特設された土俵を舞台に、浅茂川区愛護委員会の

主催による「子ども相撲大会」が開催され、大会には年長児から中学生まで約50人が参加し、真剣勝負を繰り広げる子どもたちの様子に、観衆から大きな声援と歓声が上がっていました。

地元の方たちは、「神輿巡行や相撲大会は、わしらが子どもの時分からやっ」と話され、脈々と引き継がれる伝統行事をこれからも大切にし、次の世代に引き渡したいものです。



大熱戦！子ども相撲大会



区内を練り歩く子ども神輿



咲き誇る「藤の花」

「衣のまほろば藤の郷」へは…
網野駅から網野下岡線(下岡バイパス)を浅茂川方面に約1km進んだところに藤棚があります。

見事！青空に映える「藤の花」

5月5日(日)、「衣のまほろば藤の郷」において、地域の活性化と見事に咲き誇る藤の花を愛でてもらうことを目的に「第3回藤まつり」が開催されました。

網野中学校吹奏楽部の演奏やあみの夢保育園園児による遊戯など賑わいを見せ、珍しい「ふじのみお守り」も販売されていました。

「衣のまほろば藤の郷」は、昔のような良い藤の糸を使って織物「藤布」を織っていきたいとの想

いから10年ほど前に開園され、現在は、国指定特別天然記念物の「牛島の藤」の子藤をはじめ、日本古来の花や木々が植栽されるなど、訪れる方々の目を楽しませてくれます。



当日限定で販売された「ふじのみお守り」

いろんな体験！いっぱい楽しんだよ！

5月12日(日)、心地よい潮風がそよぐ八丁浜シーサイドパークにおいて、「元気な体と、元気な町を！」目指し、NPO法人網野スポーツクラブなどが主催する「絆フェスタ」が開催されました。



来場した子どもたちは、キッズサッカーやスラックラインなどで汗を流したあと、ピクニック気分を満喫しながら、家族で囲んだ昼食をほおばっていました！

屋外でのヨガ、Twin Pole® ウォーキング、親子3B体操を体験し、日常生活でのストレスを発散したり、親子の愛情や信頼関係を深めるなど、思い思いのひと時を過ごし、参加した親子連れは「気持ちいい～！おもしろ～！」と楽しげに話されていました。



キッズサッカーに夢中です



“3B体操”を楽しむ親子連れ